



落合第一地区協議会だより

みどりの風

第10号

編集・発行 落合第一地区協議会：03（3951）9193（落合第一特別出張所内）
平成24年2月21日 発行

第3回 地区協フェスタを開催しました。



落合第一地区協議会代表 岡田 幸男

地区協フェスタは、今年で3回目を迎えました。

内容は、3月11日・東日本大震災を踏まえた「防災情報コーナー」や、首都大学東京・加藤准教授をお呼びしての「放射能・放射線Q&A」、沼田市の間伐材を使った「マイ箸&ペンダント作り」、地域の方が落合の緑を描いた「緑のはがき絵展」、上落合を中心に、落合の昔の写真や資料を展示した「昭和の上落合史」、毎年恒例の「焼き芋販売」と「群馬県沼田産朝採り野菜販売」、そして全てのコーナーを見た後は、お楽しみの「スタンプラリー」など、実行委員を中心に多彩な催しを企画し、充実した地区協フェスタとなりました。

今回、放射能に関する催しを企画したように、落一地区協は、地域のみなさんの疑問や不安に思うこと等を短期・長期的に取り組んで参ります。



放射線・放射能について真剣に考えましょう！

◆ここは、放射線・放射能Q & Aコーナーです。

文部科学省から借りた「はかるくん」という簡易式放射能測定器で、この部屋の放射線量を実際に測ってもらいました。基準値以下だったので安心だね。

首都大学東京の加藤准教授がおいでくださり、放射線・放射能についての質問に詳しく答えてくださいました。

福島第一原発事故以来、私たちの周りは、原子炉から出た放射能で汚染されてしまいました。これからどう対応して行けばいいのか、みんな真剣に聞いていました。



地域の方からの質問を熱心に聞く加藤先生

備えあれば憂いなし！

ここは、安全・安心P Tが企画した防災コーナーです。このコーナーで放映した、3月11日の東日本大震災の被害映像や被害写真は、来場された方々が息をのむ程でした。

また、地区協で見学に行った「そなエリア東京」の、防災時に役立つ情報がパネルで展示しており、普段からの備えがいかに大切かを学びました。



東日本大震災の映像に見入るお母さんと子ども



災害時の非常食も多数紹介してありました。アルファ米の試食はうれしかった。おいしくて、お腹いっぱい！

子ども達は液状化現象の仕組みを知るキットを作り、砂と水とピンを入れたペットボトルを振りながら、砂より軽いピンが浮き上がってくるのを不思議そうに見ていました。

懐かしいふるさとの風景を伝えて行きましょう！

ここは、ふるさと落合P Tが企画したコーナーです。昭和9年の上落合の風景を中心に、昔の落合の姿を映した写真や資料を展示していました。懐かしい写真の前に立ち止まり、思い出話に時間の経つのを忘れる方もいらっしゃいました。

落合も、今ではビルが建ち並び、昔の面影は少なくなりましたが、昔の人々がこの落合を守ってきた歴史を後世に伝えていくことも、私たちの役目だと思います。



懐かしい写真を見ながら昔話に花が咲く

なぜ沼田市なの？

群馬県沼田市白沢町には「新宿の森」があります。新宿の森とは、沼田市から提供された土地約17ヘクタールに、コナラの苗木4千本を植えて森林整備をしています。それは、新宿区内で排出された二酸化炭素量を相殺する、カーボンオフセット事業の一環です。

新宿区では、2020年まで毎年下草刈りや間伐、枝打ちを行い森林の再生を図り、環境の場としても活用する予定だそうです。「新宿の森・下草刈りツアー」と名付け、区民の参加を呼び掛け両市区民による、森林整備や交流を行っているそうです。そのような交流の中で、地区協議会も沼田の野菜を仕入れ販売する事になりました。



沼田市の間伐材でのマイ箸づくり。お父さんの真剣な作業ぶり。



昨年6月にゴーヤの苗を配布。その成長過程の記録など。



「安くて新鮮で味が良い」と評判の、沼田の朝採り野菜は今年も大人気！



こちらの間伐材でのペンダントづくり。カラフルな作品が沢山できあがりました。



地域の方々からお寄せいただいた、緑のはがき絵展。力作揃いに思わず足が止まって。



あなたも、地域のために活動しませんか？



地区協議会は、地域住民の皆さんや新宿区役所の出張所とともに、地域の課題解決に取り組む団体です。

まちの安心・安全のためにご協力いただける方

みどり豊かなまちづくりに取り組みたい方

その他、地域のために何かを企画して実現したい方

の参加をお待ちしております。落合第一特別出張所管内に1年以上在住、在勤、在学の方で、18歳以上の方であれば、どなたでもご参加いただけます。少しでもご関心をお持ちの方は、3月1日（木）17時までに、以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

落合第一特別出張所

電話 3951-9196 FAX 3952-3181



自転車の無灯火防止を訴える啓発活動の様子。地道な活動が評価され、戸塚警察署から表彰を受けました。



節電が叫ばれた昨年、まちの緑を増やし、節電にもつながる活動としてゴーヤの苗の配布を実施しました。

編集後記

平成23年は誰にとっても激動の年でした。3月11日の大震災、大津波、そして、絶対にあってはならない原発事故。日本は今なお、これらの三重苦に喘いでいます。

しかし、暗い話ばかりではありません。女子サッカー世界一の快挙達成や、はやぶさの帰還は、希望を持つ喜びを日本中に与えてくれました。

昨年一年を思い返して下ばかり向いてはいられません。胸を張り、我が町落合が少しでも住みやすい町となるよう、みんなでスクラムを組み、前に進んで行きましょう。

(K・I)